

地域看護学Ⅱ

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	3	区分・時間数	講義 22.5 時間
期 間	前期		
単 位 数	2 単位		

・学修方針（講義概要等）

地域で生活する人々の健康や QOL の向上を目指した看護活動を理解する。目標としては、地域看護学の基本的概念を理解し、地域看護活動として公衆衛生看護、在宅看護および学校保健等の多様な活動について学修する。さらには、諸外国における地域看護活動を学び、グローバルな健康課題を理解するとともに、社会情勢と健康課題の関連を学ぶことで、看護職の対応を広い視野で学修する。

・教育成果（アウトカム）

地域で生活する人々を対象とした看護活動を学修することで、地域の特性と健康課題を理解し、それぞれの活動の場における看護職としての役割を説明できる。また、地域包括ケアシステムにおける多様な専門職と地域の人々との連携・協働を学ぶことにより、地域の人々を支えるために必要な看護の役割を考えることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマポリシー：3, 4, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 地域で看護が展開されている多様な場の特性を説明できる。
2. 国や地方自治体等、行政機関の特徴を理解し、そこにおける保健活動について説明できる。
3. 人々が働く産業の場の特性を理解し、産業保健における看護の在り方と方法について説明できる。
4. 児童・生徒が学ぶ学校の場の特性を理解し、学校保健における養護教諭・看護師が担う看護の在り方と方法について説明できる。
5. 地域包括支援センターの役割を理解し、保健医療福祉、関係機関や地域住民との連携について説明できる。
6. 地域包括ケアにおける様々な社会資源を列举し、地域で生活する人々を支える多様な専門職と地域の人々との連携・協働について理解できる。
7. 地域特性を理解し、地域で生活する人々のニーズに対応するための必要なケアを創造する必要性を理解できる。

・ 授業日程

(矢) マルチメディア教室

【講義】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
5/29 (月) 3限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授	地域看護学の理念と目的 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域看護学の目的を理解し、看護職の役割・機能が説明できる ・ 地域看護の基盤となる基本理念とその概要を説明できる ・ 諸外国の地域看護活動を理解できる 事前学修：教科書 p.14-21 を読んで、ヘルスプロモーションの理念とキーワードをまとめておく
6/1 (木) 3限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授	地域診断 1 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域診断の意義と目的を理解し地域の看護過程を説明できる ・ 地域診断・地域看護活動の展開モデル（コミュニティ・アズ・パートナーモデル）を理解し、アセスメント項目を説明できる ・ 地区踏査の視点が説明できる ・ 情報を分析する視点を説明できる 事後学修：教科書 p.103-123 を読んで、自分が住む地域のアセスメントができるように地理、社会資源を調べておく
6/9 (金) 1限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授	地域診断 2（グループワーク） <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区踏査をする地域を担当する地域包括支援センターの場所と、担当エリアを情報収集できる ・ 社会資源マップに担当エリアを描ける
6/9 (金) 3限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授	地域看護活動の対象と看護職の役割 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で様々な対象者を理解し、健康支援の必要性を説明できる ・ 看護が提供される多様な場の特性を説明できる ・ 地域看護活動の展開方法を説明できる 事前学修：看護が提供される場について調べておく
6/12 (月) 3限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授	公衆衛生看護・在宅看護の歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の公衆衛生看護・在宅看護の変遷を説明できる ・ 日本の公衆衛生看護・在宅看護が推進される社会的背景を説明できる ・ 保健医療福祉政策の転換の経緯を確認する 事後学修：これからの公衆衛生看護・在宅看護のあり方を考える
6/13 (火) 4限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授	地域看護活動における場の特性 1 行政機関における活動：保健所、都道府県 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健師の就業先を説明できる ・ 保健所における保健活動の特徴を説明できる 事前学修：地域看護学展開論で学んだ保健活動のうち、保健所の活動をあげておく

6/16 (金) 1限	地域包括ケア講座 赤井 純子 助教	地域看護活動における場の特性 2 行政機関における活動：市町村 ・市町村における保健活動の特徴を説明できる 事前学修：地域看護学展開論で学んだ保健活動のうち、市町村の活動をあげておく
6/16 (金) 2限	地域包括ケア講座 松岡 真紀子 助教	地域看護活動における場の特性 3 学校保健における看護活動 ・学校保健における養護教諭の活動と役割を説明できる ・健康障害のある子どもへの支援システムを理解し、関係機関、関係職種とその役割を列挙できる 事前学修：「公衆衛生学・疫学」学校保健に関する内容を復習しておく
6/19 (月) 3限	地域包括ケア講座 赤井 純子 助教	地域看護活動における場の特性 4 産業保健における活動 ・産業保健活動の内容を理解できる ・職場における健康確保対策、メンタルヘルス対策を説明できる ・産業保健における看護職の役割を説明できる 事前学修：「公衆衛生学・疫学」産業保健に関する内容を復習しておく
6/22 (木) 3限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授	地域看護活動における場の特性 5 地域包括支援センターにおける活動 ・地域包括支援センターの職員配置、地域支援事業の活動内容を説明できる ・地域包括支援センターの役割を理解し、どのような相談者が利用できるか説明できる ・地域ケア会議の目的、機能を説明できる 事前学修：国民衛生の動向 p.242～255 を読んでまとめておく
6/22 (木) 4限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授	地域包括支援センターの活動と看護の機能 ・地域包括支援センターの機能と役割を説明できる ・地域包括支援センターの看護職の役割を説明できる 事前学修：地域包括支援センターに関連する法制度の要点をまとめておく
6/27 (火) 3限	地域包括ケア講座 松岡 真紀子 助教	地域包括ケアシステムにおけるネットワークづくり① ・関係機関、関係職種とその役割を列挙できる ・地域ケア会議の事例についてグループワークを行い、地域における課題解決にむけての取り組みを検討できる
6/30 (金) 2限	地域包括ケア講座 松岡 真紀子 助教	地域包括ケアシステムにおけるネットワークづくり② (グループワーク、発表) ・地域で行われている保健医療福祉、関係機関や地域住民との連携の実際を発表できる
7/4 (火) 3限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授	地域診断 3 (グループワーク、発表) ・地域看護の視点から人々の暮らし、生活ぶりを説明できる ・踏査した地域の社会資源を知る ・地区踏査から得られた情報を地域看護の視点からアセスメントできる 事前学修：地域診断と社会資源マップの発表準備

7/5 (水) 1限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授	<p>地域特性による地域看護活動（グループワーク、発表）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域特性に応じた看護が果たす役割を述べることができる ・地域特性に基づいて人々の健康を維持、増進するための方法、必要なケア資源を列挙できる ・地括ケアシステムにおける連携・協働の視点で、地域に広がる看護の役割を考察できる <p>事前学修：地域包括ケアに関連し、今までの講義で気になった課題をあげておく</p>
------------------	----------------------	--

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	公衆衛生看護学.jp 第5版	荒賀直子 他編	インターメディカル	2020
教	国民衛生の動向 2022/2023	厚生労働統計協会	厚生労働統計協会	2022
参	公衆衛生看護学第3版	上野昌江 他編	中央法規	2021
参	最新公衆衛生看護学第3版 2022年版 各論2	宮崎美砂子 他編	日本看護協会出版会	2022
参	地域看護アセスメントガイド第2版	佐伯和子 編著	医歯薬出版株式会社	2018
参	保健の実践科学シリーズ 行政看護学	金子仁子 編著	講談社	2017
参	公衆衛生看護活動Ⅱ 2023年版学校保健・産業保健	荒木田美香子 編	医歯薬出版株式会社	2023
推	コミュニティアズパートナー地域看護の理論と実際 第2版	エリザベス・アンダーソン、他編	医学書院	2007

・成績評価方法

定期試験 70%、課題レポート・授業内での課題 30%の合計 100%にて評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている授業内容及び到達目標を確認し予習した上で授業に臨むこと。また講義中に提示した予習ポイント・課題を学習して臨むこと。事後学修は、本科目指定の教科書だけでなく、授業内容に関連した履修済の教科書や配布資料等を用い復習すること。適宜、講義中に事前学修の発表時間を設ける。

授業ではグループワークを取り入れ、学生同士で共有する時間を設ける。各授業に対する事前事後の学修時間は最低 30 分を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・適宜、WebClass に授業中に解説した資料等を掲載するので確認すること。
- ・授業で課題を課す場合は、期日までに WebClass で回収し、授業等でフィードバックする。

- ・レスポンスカード等については、次の授業等で適宜コメントを伝える等、学生にフィードバックする。
- ・試験のあとは、WebClassに必要な解説を掲載する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

保健師（別表1）：公衆衛生看護学 公衆衛生看護学概論

看護師（別表3）：統合分野 在宅看護論

- ・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影
講義	DVD（ブルーレイおよび一般DVD）再生機器	1	講義時資料投影